

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	柔剣道場新築事業	所管	教育委員会教育総務部 教育施設課
			TEL 2998-9235

事業の目的 (何の為に 行うか)	市内市立中学校15校に柔剣道場を建築し、各中学校における授業や部活動に供するため整備する。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	中学校全校	対象とした数	15	校
		実際に 利用した数	0	校

活動の内容	(何を したか)	①学校からに要望に基づき、教育施設課内で検討後、総合計画実施計画にて整備を位置づける。 ②具体的な柔剣道場建設計画の年次計画を確定する。 ③計画に基づき、所沢市公立学校施設整備計画に位置づけ、文部科学省へ提出する。 ④設計費、工事費等の見積を営繕課に依頼する。 ⑤予算措置に伴い事業に着手する。 ⑥工事着手年度と同年度に、安全・安心な学校づくり交付金の申請手続きを進める。							
	活動実績	項目名	柔剣道場建築校数	0	項目名	単位	校	項目名	単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	0	0	23,767	70.1

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	柔剣道場設置率	中学校全15校のうち、柔剣道場を整備した校数	15 単位 校	14 単位 校	93.3 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了	⇒	事業完了	終了	休止
	予算	現状どおり	* 増額	減額	終了	

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了							
	総合 評価	拡充	縮小	統合	* 改善・効率化	改善余地なし	その他 []	終了
	予算	現状どおり	* 増額	減額	終了			

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	120200	TEL	2998-9235
事業コード	柔剣道場新築事業					
120203						
開始年度		昭和 59 年度	—	終了年度	平成 21 年度	
グループ		施設建設				

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律							
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び・文化をはぐくむまち	施策	2節 学校教育	中柱	2 教育環境の充実	小柱	(1)施設の整備と機器の充実
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 6 位		・実施計画における位置づけ… H19 O H20 A						
行政改革大綱における行動計画への位置づけ		コード		コード		コード		コード	
3621		事務改善活動等の充実・強化							
事業開始の背景		中学校の生徒の授業、及び部活動に供するために柔剣道場を整備する。							

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に)									
	市内市立中学校15校に柔剣道場を建築し、各中学校における授業や部活動に供するため整備する。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方				
	中学校全校					柔剣道場を建築した校数				
	対象数	単位	平成 18 年度	15	校	利用数	単位	平成 18 年度	0	校
		平成 19 年度	15	校			平成 19 年度	0	校	
事業の具体的な内容及び実施方法										
①学校からに要望に基づき、教育施設課内で検討後、総合計画実施計画にて整備を位置づける。										
②具体的な柔剣道場建設計画の年次計画を確定する。										
③計画に基づき、所沢市公立学校施設整備計画に位置づけ、文部科学省へ提出する。										
④設計費、工事費等の見積を営繕課に依頼する。										
⑤予算措置に伴い事業に着手する。										
⑥工事着手年度と同年度に、安全・安心な学校づくり交付金の申請手続きを進める。										

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価 <input type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())									
	<input type="checkbox"/> 終了 => (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)									
	予算 <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了									
平成19年度中に改善した点										

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		0	0	5,200
	決算(見込み含む)				
	(嘱託職員)(臨時職員)	(人) (人) (人) (人)			
	正規職員人件費		23,937	23,767	
	事業費合計		23,937	23,767	
	財源内訳	一般財源	23,937	23,767	5,200
	国・県支出金				
	受益者負担金				
	市債				
その他					
市民一人当たり(単位:円)			70.8	70.1	
利用数一単位あたり(単位:円)			#DIV/0!	#DIV/0!	

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	柔剣道場建築校数	柔剣道場を整備した校数	校	0	0	0	1
	成果分析	柔剣道場設置率	中学校全15校のうち、柔剣道場を整備した校数	校	目標値 15	15	15	15
				%	実績 14	14	実績値の拡大を図る1	実績値の縮小を図る2
				93.3	93.3		1	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要ななし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題 柔剣道場の整備は、昭和59年度の三ヶ島中学校から平成13年度の山口中学校まで、15校中14校に進めてきたが、向陽中学校については、敷地が狭隘であることによる学校運営上の問題、及び建築基準法等の制約等により敷地利用計画が定まらずに遅れていた。この度、それらの問題を整理し、平成20年度の設計、平成21年度の工事を実施計画に盛り込み、事業に着手した。			
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
平成20年度における目標設定	向陽中学校の柔剣道場の整備	柔剣道場新築に係る設計業務	年度末	
平成21年度における事業の方向性				
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())			
予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由 向陽中学校の柔剣道場整備については、市内の各中学校間の施設整備の公平性の面からも、適切な予算措置を行い、早急な整備が必要である。				
評価日		平成20年5月20日	記入者職氏名 教育施設担当 田中 文雄	

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性									
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了								
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
	事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業		
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業			
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業			
評価理由	唯一柔剣道場が整備されていない中学校における建築であり、学習指導要領の改定で武道が必修となることから建築は認められる。ただし、柔剣道という特定目的の施設であり利用頻度の低さが懸念されるため、学校のみならず地域にとっても有効利用が可能となるように、運用面も含めて検討されるべきと考える。よって、総合評価は「改善・効率化」とした。									
評価日	9月1日									

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード		
	◎個別計画				
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード		
	基本目標				
主要課題					
施策の方向					